

医療従事者の手指消毒に…

手指用殺菌消毒剤

ステリクロン[®]スクラフフォーム4%

クロルヘキシジングルコン酸塩製剤

STERICLON[®] Scrub Foam 4%

手指への優しさに配慮した
泡状の抗菌性スクラブ剤です。



薬液を
泡立たせる必要が
ありません

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）

クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある者 [8. 参照]

詳細は、D.I. 欄又は電子添文等をご参照ください。

ステリクロンスクラブフォーム4%

STERICLON® Scrub Foam 4%

クロルヘキシジングルコン酸塩は、グラム陽性菌、グラム陰性菌等に対し、殺菌作用を示すビグアナイド系の殺菌消毒剤です。

ステリクロンスクラブフォーム4%は、有効成分としてクロルヘキシジングルコン酸塩を4w/v%含有し、洗浄剤を配合した手指用殺菌消毒剤で、手指の“洗浄”と“消毒”を同時に行うことができ、手術時手洗いに適しています。

また、ステリクロンスクラブフォーム4%は、クリーミーな泡状の薬液をそのまま手に取ることができるため、使用時に薬液を泡立たせる必要がなく、過度な手指の摩擦を防ぎ、使用性ととも手指への優しさにも配慮した製剤です。

特性

1. 薬液を泡立たせる必要がなく、クリーミーな泡が手指を優しく洗浄します。
(薬液を泡立たせるための過度な手指の摩擦を防ぎます。)
2. 湿潤剤を含有し、手荒れ防止に配慮しています¹⁾。
3. 泡状なので、手からの液のこぼれ落ちがありません。
4. 手指の洗浄と消毒が同時にできます。
5. 手指消毒効果が持続します²⁾。
6. 重大な副作用としてショック、アナフィラキシーがあらわれることがあります。

組成・性状

組成	有効成分	100mL中 日局 クロルヘキシジングルコン酸塩液 20mL (クロルヘキシジングルコン酸塩として4g)
	添加剤	ラウリルジメチルアミノオキシド液、ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド、1,3-ブチレングリコール、グルコン酸、マクロゴール20000、エタノール、赤色102号
性状		橙赤色澄明の粘性の液で、起泡ポンプを用いて吐出するとき、泡状となる。 pH：5.3～6.3 比重 d_{20}^{20} ：1.02～1.04

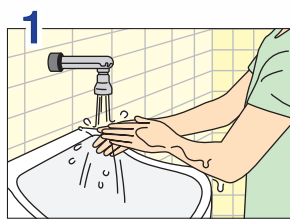
効能又は効果、用法及び用量

効能又は効果	用法及び用量
医療施設における医師、看護師等の医療従事者の手指消毒	〈術前、術後の術者の手指消毒〉 手指及び前腕部を水でぬらし、本剤約5mLを手掌にとり、1分間洗浄後、流水で洗い流し、更に本剤約5mLで2分間洗浄をくりかえし、同様に洗い流す。 〈術前、術後の術者以外の医療従事者の手指消毒〉 手指を水でぬらし、本剤約2.5mLを手掌にとり、1分間洗浄後、流水で洗い流す。

* ポンプひと押しで本剤約1mL分の泡がでる。

1) 社内資料：ステリクロンスクラブフォーム4%の皮膚に対する影響について
2) 社内資料：ステリクロンスクラブフォーム4%の殺菌効力について

手術時手洗いの例 ― スクラブ法 ―



1 手指及び前腕部を流水でぬらす。



2 ステリクロンスクラブフォーム4%を手取る。

ポンプひと押しで本剤約1mL分の泡がでる。



3 指先を揉み洗いうる（指先のみブラシを使用しても良い）。



4 手のひらを揉み洗いうる。



5 手の甲を揉み洗いうる。



6 指の間に揉み洗いうる。



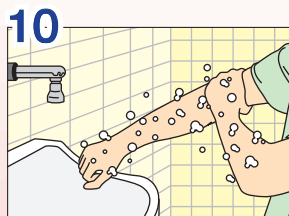
7 手指を曲げてしわを伸ばし、反対側の手のひらと揉み洗いうる。



8 親指を揉み洗いうる。



9 手首を揉み洗いうる。



10 肘関節上部までを揉み洗いうる。



11 流水で洗い流す。



12 水分を拭き取る。

●手術時手洗いにおいては、アルコール製剤等による擦式消毒を併用することが望ましいです。

ロングノズル装着前

STERICLON® Scrub Foam 4%



●使用時に、付属のロングノズルを装着します。

殺菌効果 (in vitro試験)

グラム陽性菌、グラム陰性菌及び真菌の計 9 菌種に対し、ステリクロンスクラブフォーム 4 %の *in vitro* における殺菌効果について試験した結果、いずれの供試菌に対しても、原液では 15 秒以内で、5 倍及び 10 倍希釈液では 30 秒以内で殺菌効果が得られました。

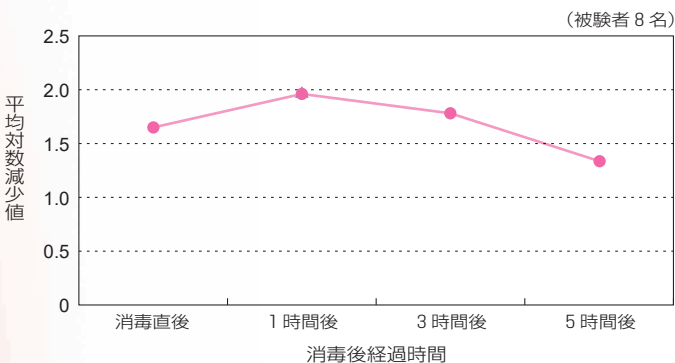
供試菌株	殺菌時間*		
	原液	5 倍希釈液	10 倍希釈液
<i>Staphylococcus aureus</i> IFO 12732	≤ 15 秒間	≤ 15 秒間	≤ 15 秒間
<i>Staphylococcus aureus</i> (臨床分離株MRSA-01)	≤ 15 秒間	30 秒間	30 秒間
<i>Staphylococcus epidermidis</i> IFO 12993	≤ 15 秒間	≤ 15 秒間	≤ 15 秒間
<i>Escherichia coli</i> IFO 3806	≤ 15 秒間	≤ 15 秒間	≤ 15 秒間
<i>Proteus vulgaris</i> IFO 3988	≤ 15 秒間	≤ 15 秒間	≤ 15 秒間
<i>Pseudomonas aeruginosa</i> IFO 3080	≤ 15 秒間	≤ 15 秒間	≤ 15 秒間
<i>Burkholderia cepacia</i> IFO 15124	≤ 15 秒間	30 秒間	30 秒間
<i>Serratia marcescens</i> IFO 12648	≤ 15 秒間	≤ 15 秒間	≤ 15 秒間
<i>Candida albicans</i> IFO 1594	≤ 15 秒間	30 秒間	30 秒間

*：99.9 %以上の減少に要した時間

●社内資料：ステリクロンスクラブフォーム 4 %の殺菌効力について

手指消毒効果（グローブジュース法） (in vivo試験)

ステリクロンスクラブフォーム 4 %の *in vivo* における手指消毒効果について、グローブジュース法を用いて評価しました。その結果、ステリクロンスクラブフォーム 4 %の消毒前に対する平均対数減少値は、消毒直後から消毒 3 時間後までは1.5以上、5 時間後においても 1（減菌率 90 %）以上を示しました。



方法

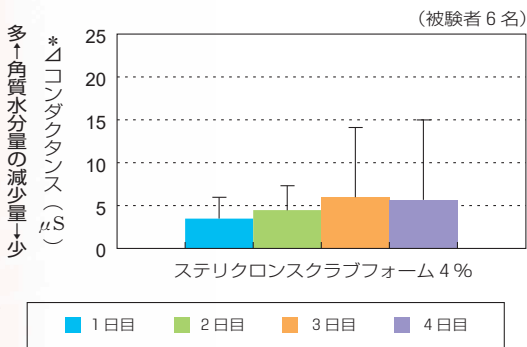
消毒前の手指菌数を測定し、次にステリクロンスクラブフォーム 4 %約 5 mLを用いて 2 回手指消毒を行い、消毒直後、消毒 1 時間後、3 時間後及び 5 時間後の手指菌数を測定して対数減少値を求めた。

なお、消毒後は菌数測定時以外滅菌手袋を装着した。

●社内資料：ステリクロンスクラブフォーム 4 %の殺菌効力について

皮膚に対する影響 (in vivo試験)

ステリクロンスクラブフォーム 4 %を連続使用した場合の皮膚に対する影響について、角層水分量の変化を評価しました。その結果、ステリクロンスクラブフォーム 4 %消毒部位は、角層水分量の変化が緩やかであることが確認されました。



*：（消毒前の測定値－各試験日の測定値）の平均値（mean ± S.D.）

●社内資料：ステリクロンスクラブフォーム 4 %の皮膚に対する影響について

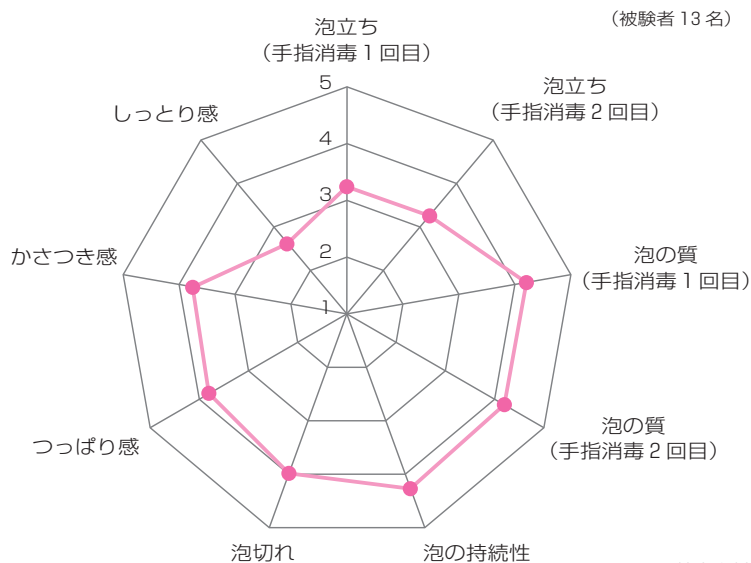
方法

被験者の前腕内側部に、ステリクロンスクラブフォーム 4 %を 1 回約 0.2 mL（0.1 mL×2 回消毒）用い、1 日 6 回、4 日間連続で消毒した。

消毒前及び消毒開始後毎日、1 日 6 回の消毒終了 1 時間後に、皮膚表面湿潤度計（SKICON-200、IBS社製）により電導度（μS）を測定し、消毒前からの角層水分量の変化量（Δコンダクタンス）を示した。

使用感に関するアンケート調査

ステリクロンスクラブフォーム4%で手術時手洗いをを行った場合の使用感について、アンケート調査により評価しました。その結果、ステリクロンスクラブフォーム4%は「泡の質」及び「泡の持続性」について評価4点以上の評価が得られました。



方法

ステリクロンスクラブフォーム4%約5mLを用いて2回手指消毒を行い、以下の評価項目についてアンケート調査を実施し、[評価1(悪)~評価5(良)]の5段階で評価した。

評価項目

手指消毒中の泡立ち、泡の質、泡の持続性、泡切れ、手指消毒後のつっぱり感、かざつき感、しっとり感の計7項目。

●社内資料：ステリクロンスクラブフォーム4%の使用感について

手指消毒 1 回目の泡立ちの様子



包装

500 mL

識別性、使用性に配慮



4 面に品名表示

- 識別性向上のため、品名を4面に表示し、誤使用防止を図っています。



開封日の記入

- ラベル正面には開封日が記入できます。

ディスペンサーキット

オートディスペンサー

壁固定式



ポール固定式



オートディスペンサーは…

- 壁固定式、ポール固定式があります。
- ポールスタンドを準備しています。

